



自由経済の現実の形成

令和6年9月9日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

社会と生活の需要と企業活動におけるコスト製品サービスの向上は、自由経済が、社会の向上を与えるものである。

これらは競争と現実の向上という生存原理における生活の向上である。これらは動物性の原理が、その生存という絶対性とともにより現実の向上を与えることなのである。

これらは過去の戦争と生存という絶対的な現実が基盤し、経済という原則における新しい世界の創造を有することなのである。

これらは競争が格差を生むことにおいて、新社会主義という新たな提案を与えるものである。

これらは生存が保証され、新たな目的の追求という世界の選択を提案するものなのである。

これらは生存という絶対性がキーワードなのである。生存要求がすべてを支配することが、現実において存在するからなのである。

生存と競争は、戦争と同じなのである。その負荷と格差という現実が世界の病巣を生む原因なのである。

これらは未来という新たな現実への考察であり、経済システムへの正しい考察なのである。

これらはまた、ベーシックインカムという社会システムへの考察である。社会が豊かさとともに、新たな現実への到達を得るとき、経済の競争原理への疑問を有することは真実なのである。

これらは競争原理は、格差とヒエラルキーを形成することにおいて、新社会主義が、全ての人々への基本的生活の保障をお行うことにおいて、新しい世界の創造を提案できると考えるためなのである。

